

「さが市議会だより」

第80号

さが市議会だより



「題字」佐賀北高等学校3年
黒原 袖吏さん



日本の棚田百選「西の谷の棚田」(佐賀市富士町)
富士町のほぼ中央部、標高350m、大串川の両岸に沿って約4.7%の棚田が広がる米作を中心とした山村地域です。

令和5年2月定例会

- 2 | 令和5年度予算を可決
- 12 | 常任委員会審査報告
- 14 | 「市政 ここが聞きたい」
■26名の議員が一般質問
- 22 | 佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会
■委員会設置及び活動報告



佐賀市議会HP

2月定例会は2月28日に開会し、3月23日に閉会しました。当初予算9件、補正予算8件、条例19件（うち委員会提出2件）、一般4件、人事2件の計42議案を可決（同意を含む）しました。請願は賛成多数で趣旨採択しました。

令和5年度の一般会計当初予算は前年度に比べ6億円増の1,046億円となりました。

令和5年度の重点取組

「リッチ・ローカル 佐賀市」の実現を目指し、令和5年度のチャレンジとして、「3つの『新しい』を実行する」を掲げる。

1. 「新しい“暮らし”を構想する」
2. 「新しい“人”を巻き込む」
3. 「新しい“体験”を創る」



令和5年度の予算

背景

- ◆ 社会保障関係経費の増加が見込まれる中、地方が地域社会のデジタル化や脱炭素化の推進など様々な行政課題に対応しつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、前年度と同水準を確保することとされている。
- ◆ 経済状況については、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている。その一方で、原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギーや食料価格の高騰など、地域経済を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。
- ◆ 健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に活用し、佐賀市の未来を“共創”するため、「3つの『新しい』を実行すること」をはじめとして、市民が豊かさを実感できるまちづくりに資する予算編成を講じている。

令和5年度の予算規模

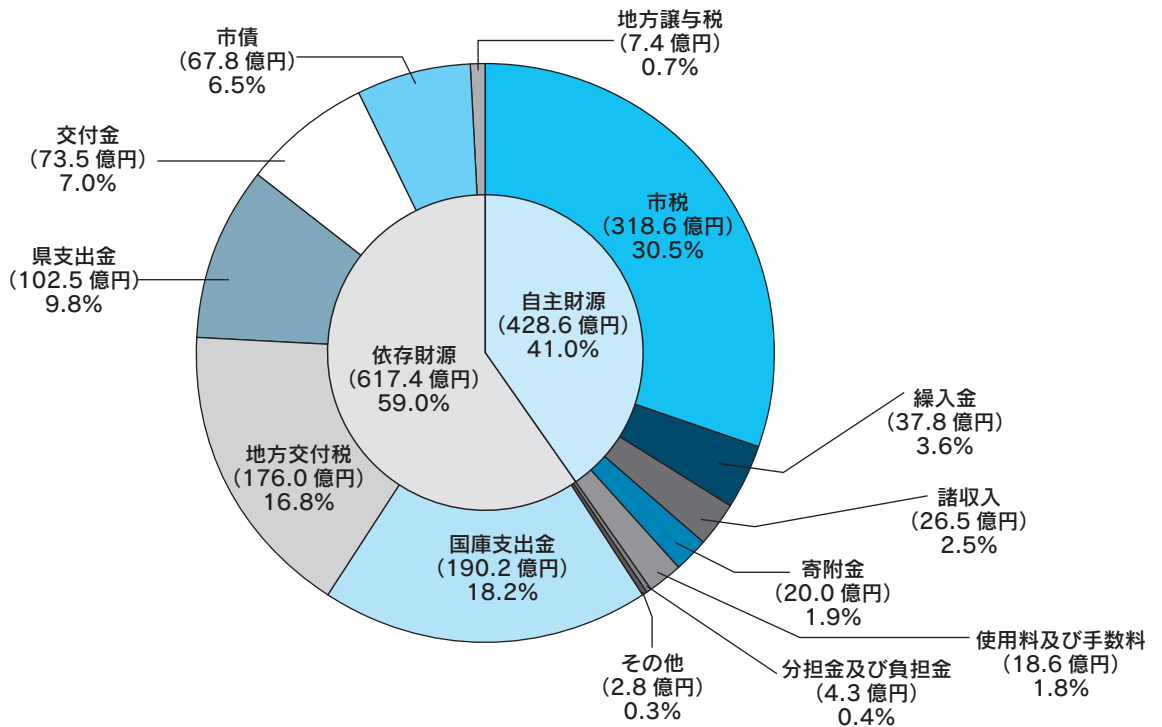
会計		予算額	増減(前年度比)
一般会計		1,046億円	6億円(0.6%)
特別会計	国民健康保険	264億7,900万円	3億3,300万円(1.3%)
	国民健康保険診療所	1億2,800万円	900万円(7.6%)
	後期高齢者医療	38億3,800万円	1億7,700万円(4.8%)
企業会計	自動車運送事業(市営バス)	12億2,500万円	1,300万円(1.1%)
	水道事業	71億4,100万円	△3億8,800万円(△5.2%)
	工業用水道事業	3,000万円	1,200万円(66.7%)
	下水道事業	152億8,200万円	△18億900万円(△10.6%)
	富士大和温泉病院事業	19億2,800万円	2億2,500万円(13.2%)

※ 端数処理のため、増減率が一致しない場合があります。

◎令和5年度当初予算一般会計の状況

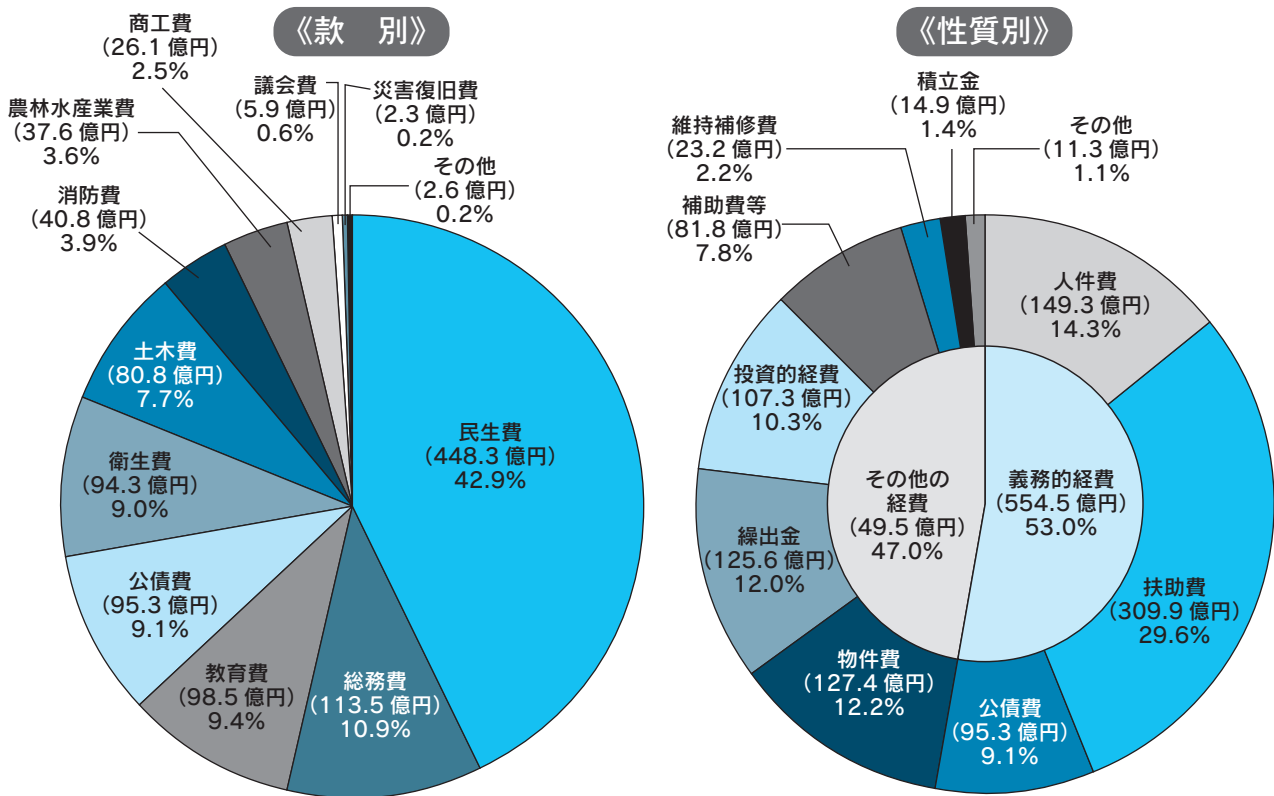
【歳入】

〔歳入総額 1,046億円〕



【歳出】

〔歳出総額 1,046億円〕



※端数処理のため構成比が一致しない場合があります。

令和5年度当初予算主要事業

総務部

★は新規事業

☆「バルーンフェスタ」ブランド強化プロモーション事業〔広報課〕 800万円

・「佐賀バルーンフェスタ」を全国区の佐賀市ブランドとして確立させるため、首都圏向けに実施する集中プロモーションに要する経費

★文書管理・財務会計システム構築経費

〔総務法制課・財政課〕

・公文書の收受、起案、保管、廃棄等を管理する文書管理システムおよび予算編成、執行、決算等を管理する財務会計システムの更新に要する経費

・文書管理システム・財務会計システム構築業務委託料

〔令和5年度から令和7年度までの債務負担行為限度額〕 1億5456万円

★電話交換機更新事業〔財産活用課〕 4950万円

・電話交換機の更新および通話録音機能の追加に要する経費

☆久保田地区公共施設再編整備事業

〔財産活用課〕 1億9083万円

・農村環境改善センターの複合化施設への改修に要する経費

〔令和5～6年度継続費〕

・継続費総額 4億8067万円

☆佐賀中部広域連合消防負担金〔危機管理防災課〕

31億9696万円

・佐賀中部広域連合に対する常備消防負担金



★災害情報システム整備事業

〔危機管理防災課〕 6671万円

・災害情報の収集・共有・発信等の強化に資する災害情報システムの整備に要する経費

・災害情報システム整備業務委託料

〔令和5年度から令和7年度までの債務負担行為限度額〕 2億2235万円

企画調整部

☆水道事業会計関係経費〔企画政策課〕 2968万円

・水道事業会計に対する一般会計からの繰入金

★電子契約システム導入経費

〔企画政策課〕 42万円

・事務効率化および事務経費削減のための電子契約システムの検討および導入に要する経費

★物流拠点構想調査研究経費

〔企画政策課〕 876万円

・南部地域における物流拠点形成による経済活性化・雇用創出に向けた調査研究に要する経費

★総合計画策定経費〔企画政策課〕 2175万円

・第3次佐賀市総合計画の策定に要する経費

☆ふるさと納税推進事業

〔企画政策課〕 11億6078万円

・ふるさと納税の促進に向けた各種広報および寄附者へのお礼品の発送等に要する経費



☆DX推進経費〔DX推進室〕 1009万円

・DX推進のためのデジタル人材を確保・育成をするための各種研修の開催経費およびデジタルデバイス対策等に要する経費

☆スマートシティ推進経費〔DX推進室〕 1億7299万円

・佐賀市公式スーパーアプリ基盤の第2期構築および機能拡充等に要する経費

☆生活バス路線等運行対策経費

〔交通政策課〕 3億165万円

・生活バス路線および都市間バス路線の確保のための交通局等に対する繰入金・補助金等



☆北部地域交通通行経費〔交通政策課〕 6366万円

・北部地域における交通対策として運行するコミュニティバス等に対する補助経費

★次世代交通調査研究実証経費

〔交通政策課〕 2996万円

・ニューモビリティに係る調査・研究および自動運転の実証実験に要する経費

☆藻類産業推進関係経費〔バイオマス産業推進課〕 4364万円

・「さが藻類バイオマス協議会」の運営および「さが藻類産業研究開発センター」における藻類培養等の研究開発に要する経費

佐賀駅周辺整備構想推進室

☆佐賀駅周辺整備事業〔佐賀駅周辺整備構想推進室〕 7593万円

・サンライズストリート三溝線沿線のポケットパーク整備等に要する経費

経済部

☆DX推進支援モデル事業〔工業振興課〕 300万円

・DX推進のための体制整備等に取り組み企業の伴走支援費用に対する補助経費

☆企業立地促進支援事業〔工業振興課〕

・市内へ進出する企業または市内移転する企業に対する用地あっせんや基盤整備費等への補助に要する経費

〔令和5年度から令和6年度までの債務負担行為限度額〕 1億円

★工業団地調査経費〔工業振興課〕 600万円

・新たな工業団地の確保に向けた適地調査等に要する経費

☆工業用水道事業会計繰出金

〔工業振興課〕 1992万円

・工業用水道事業会計に対する一般会計からの繰入金

★SAGA2024おもてなし推進事業

〔観光振興課〕 1600万円

・SAGA2024競技別リハール大会の参加者や来訪者へのおもてなしの実施および本市の魅力発信に要する経費

★MICEと連携した観光消費促進事業

〔観光振興課〕 3639万円

・SAGAアリーナ来訪者向けの特別クーポンの発行や市内観光周遊タクシーの運行、宿泊プラン造成支援に要する経費

★街なかリーディング促進事業

〔商業振興課〕 1980万円

・SAGAアリーナ来訪者の中心市街地に

おける回遊・消費行動の促進に向けた街なか店舗との連携、協力体制の構築等に要する経費

☆インバウンド観光推進事業

934万円

・インバウンド観光推進のための情報発信やツアー造成に向けた誘客助成等に要する経費

☆熱気球大会開催事業

1億7186万円

・熱気球大会の開催に要する経費



☆街なか遊休不動産マッチング推進事業

650万円

・中心市街地の遊休不動産の所有者が活用希望者に貸し出すために行う施設整備費に対する補助経費

農林水産部

★地域計画策定経費・目標地図案策定経費

941万円

・地域農業の将来の在り方、農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標等を定める地域計画策定および目標地図の素案作成に要する経費

★農業振興地域整備計画策定経費

616万円

・農用地区域の見直し等による農業振興地域整備計画の変更に要する経費

☆さが園芸生産888億円推進事業

1億7271万円

・所得向上に向けた収量・品質の向上や低コスト化、規模拡大等のための園芸用ハウス、省力化機械等の導入に対する補助経費

☆スマート農業推進事業「農業振興課」

775万円

・スマート農業機器の導入補助、スマート農業の普及・啓発のための研修会を行う「佐賀市担い手育成総合支援協議会」に対する補助経費

☆多面的機能支払事業(田んぼダム加算カ)

900万円

・田んぼの排水口に堰板を設置し雨水貯留能力を高め、大雨時に下流域の浸水被害を軽減する田んぼダムの取り組みに対する補助経費

☆ナガエツルノゲイトウ等防除対策経費

5080万円

・水路等において大規模に繁茂する特定外来生物(ナガエツルノゲイトウ、ブラジルチドメグサ)の除去、防除およびしゅんせつに要する経費

☆経営体育成基盤整備事業(東与賀地区事業計画書策定分)「農村環境課」

1365万円

・東与賀地区における農業基盤の再整備のための事業計画書策定に要する経費

☆間伐等森林整備促進対策事業

2871万円

・施業の効率化と生産コストの低減を図るための高性能林業機械の導入に対する補助経費

★自伐林家育成研修事業・林業経営体人材確保事業「森林整備課」

785万円

・担い手の確保・育成のための自伐型林業に関する技術等の研修会実施および林業経営体の負担する福利厚生費用に対する補助に要する経費

★漁業被害対策特別資金利子補給事業

956万円

・漁業不振により事業継続が危惧される漁家に対する特別資金貸付に係る利子補給に要する経費

☆漁業被害対策特別資金利子補給事業

5646万円

・令和5年度から令和10年度までの債務負担行為限度額

☆有明海沿岸漁場作濬事業「水産振興課」

1億9320万円

・河川からの栄養塩をノリ養殖漁場全体に行き渡らせるための有明海の作濬工事に要する経費

建設部

☆建築物耐震対策事業「建築指導課」

5億6873万円

・建築物の耐震診断、耐震補強設計および耐震改修工事ならびにブロック塀の撤去等に対する補助経費

☆SAGAサンライズパーク周辺道路整備事業「道路管理課」

1億1472万円

・SAGAサンライズパーク周辺道路(総合運動場高木団地線・総合運動場西線)整備に要する経費

☆川副中央幹線道路整備事業

4億8135万円

・有明海沿岸道路川副IC(仮称)のアクセス道路となる川副中央幹線の道路改良工事等に要する経費

☆佐賀コローニ跡地開発関連道路・水路整備事業「道路整備課・河川砂防課」

2億9500万円

・令和5年度から令和6年度までの債務負担行為限度額

☆佐賀コローニ跡地に県が開発する産業団地へのアクセス道路および排水路整備に要する経費

☆サンライズストリート(三溝線)整備事業「道路整備課」

2億2100万円

・サンライズストリート(三溝線)の道路整備、歩道の高質化整備および無電柱化整備に要する経費

☆三次元測量システム導入事業

195万円

・災害発生時に被災箇所を撮影することで自動測量を行うシステムの導入に要する経費

☆河川砂防課

☆河川水路の浚渫採事業「河川砂防課」

1億1218万円

・大雨・洪水時において、河川水路の氾濫や家屋等の浸水を未然に防ぐための水草繁茂箇所および泥土堆積箇所の除草・しゅんせつに要する経費

☆河川改修事業「河川砂防課」

3億1660万円

・河川排水機能向上および浸水被害軽減のための改修経費(5河川)

☆都市計画マスタープラン策定経費

1438万円

・都市の将来像や土地利用の基本方針、都市施設の整備方針など、都市計画の総合的な指針を定めるための計画策定に要する経費

☆八戸天祐線街路整備事業「道路整備課」

1億914万円

・市道大財町北島線と国道207号を南北に結ぶ八戸天祐線の道路改良工事等に要する経費

☆神野公園再整備事業「緑化推進課」

461万円

・神野公園の再整備に向けた基本構想策定に要する経費

☆嘉瀬地区多目的広場整備事業

4022万円

・嘉瀬地区多目的広場の整備に要する経費

☆光法団地建替事業

4億7835万円

・市営光法団地の現地建て替えに要する経費(令和5~6年度継続費)

☆建築住宅課

11億191万円

・継続費総額



環境部

☆カラス対策経費(鳥害防止機器の電線設置実証実験分)「環境政策課」

29万円

・佐賀城公園周辺におけるガラス被害を減少させるため、電線所有者と協力し、鳥害防止機器を電線に設置する実証実験に要する経費

★地球温暖化対策実行計画策定経費

【環境政策課】 572万円

・地球温暖化対策実行計画の策定に要する経費

・地球温暖化対策実行計画策定業務委託料
令和5年度から令和6年度までの債務負担行為限度額 800万円

★ゼロカーボン推進事業【環境政策課・施設機能向上推進室】 1525万円

・市民および市内事業者による脱炭素社会の実現に向けた取り組みへの補助経費

★下水道事業会計繰出金【環境政策課】 29億4029万円

・下水道事業会計に対する一般会計からの繰出金

★粗大ごみ受付システム整備事業

【循環型社会推進課】 735万円

・粗大ごみ回収申し込みインターネット受け付け、手数料支払いのキャッシュレス決済に対応するためのシステム改修に要する経費

★地域エネルギー循環モデル構築検討事業

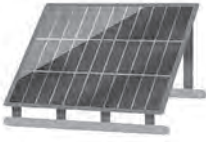
【施設機能向上推進室】 812万円

・清掃工場の廃棄物発電で発生する電気エネルギーを有効に活用した地域エネルギー循環モデルの検討に要する経費

★再生可能エネルギー普及事業

【施設機能向上推進室】 793万円

・太陽光発電の第三者普及モデルの普及に係る事業者への支援、山間部での小水力発電の設置等に向けた支援に要する経費



★最終処分場埋立工区整備事業【施設機能向上推進室】 3539万円

・最終処分場の埋立容量を確保する再整備に向けた実施設計等に要する経費

★尿管等前処理施設関係経費

【衛生センター】 4535万円

・7月から供用開始するし尿管等前処理施設の維持管理に要する経費（上下水道局からの受託事業）

市民生活部

★地域女性活躍推進事業【人権・同和政策・男女参画課】 400万円

・市内事業所等で働く女性や女子学生などの交流の場を創出するための経費

★マイナンバーカード交付関連事務経費

【市民生活課】 1億2283万円

・デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの申請・交付等に要する経費

★火葬場改修事業【市民生活課】 1億170万円

・つくし斎場の耐震改修、屋上防水改修等に要する経費

保健福祉部

★アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

【福祉総務課】 4662万円

・困りごとを抱える市民への家庭訪問等により相談窓口や社会参加等につなげるための経費

★国民健康保険特別会計繰出金

【保険年金課】 21億7759万円

・国民健康保険特別会計に対する一般会計からの繰出金

★国民健康保険特別会計【保険年金課】 (264億7907万円)

【三瀬診療所】 2835万円

・国民健康保険診療所特別会計に対する一般会計からの繰出金

★国民健康保険診療所特別会計【三瀬診療所】 (1億2834万円)

★情報コミュニケーション推進経費

【障がい福祉課】 345万円

・手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例に基づき障がいに応じた意思疎通手段の普及や促進に要する経費

★障害者自立支援給付事業・障害児通所支援事業【障がい福祉課】 86億193万円

・障がいの者の介護・訓練サービス、障がいの者のデイサービス、自立支援医療等の給付経費

★高齢者保健福祉計画策定経費

【高齢福祉課】 95万円

・高齢者保健福祉計画の策定に要する経費

★佐賀中部広域連合介護保険負担金

【高齢福祉課】 32億7094万円

・佐賀中部広域連合が支払う介護給付費に対する負担金

★後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金【保険年金課】 27億6151万円

・後期高齢者医療広域連合が支払う療養給付費に対する負担金

★後期高齢者医療特別会計繰出金

【保険年金課】 9億8912万円

・後期高齢者医療特別会計に対する一般会計からの繰出金

★後期高齢者医療特別会計【保険年金課】 (38億3838万円)

★生活保護費【生活福祉課】 52億1000万円

・被保護世帯に対する扶助費

★富士大和温泉病院事業会計繰出金

【健康づくり課】 3億3549万円

・富士大和温泉病院事業会計に対する一般会計からの繰出金

★出産・子育て応援事業関連経費

【健康づくり課】 1億8824万円

・妊娠・子育て家庭に対する伴走型相談支援の充実および経済的支援等の実施に要する経費

★骨髄等移植ドナー助成事業【健康づくり課】 28万円

・骨髄等の提供を行ったドナーに対する助成に要する経費

子育て支援部

★児童クラブ運営経費【子育て総務課】 5億3780万円

・専用館および余裕教室等を活用した児童クラブの運営および民間事業者への運営委託に要する経費

★子育て応援記念品寄贈事業

【子育て総務課】 600万円

・出生児への木製玩具の作製・寄贈に要する経費

★ひとり親家庭等総合支援計画策定経費

【こども家庭課】 291万円

・ひとり親家庭等総合支援計画の策定に要する経費

★子育て支援短期利用経費

【こども家庭課】 796万円

・家庭での養育が一時的に困難となった保護者がショートステイ等を安定して利用できる体制の確保に要する経費

★子どもの医療費助成経費

【こども家庭課】 7億9930万円

・0歳から中学生までの医療費助成に要する経費

★子ども・子育て支援関連経費

【保育幼稚園課】 118億8228万円

・子どものための教育・保育給付、子育てのための施設等利用費、子ども・子育て支援事業等に要する経費

★子ども・子育て支援事業計画策定経費

【保育幼稚園課】 125万円

・子ども・子育て支援事業計画の策定に要する経費

〔令和5年度から令和6年度までの債務負担行為限度額〕
313万円

☆保育士就職支援金給付事業・保育士家賃補助事業「保育幼稚園課」
1332万円



・市内の保育所等に新規就職予定の保育士に対する就職支援金の給付や家賃補助に要する経費

☆一時保育経費「保育幼稚園課」
2084万円

・一時的に家庭での保育が困難となった乳幼児の一時的な預かりを実施する事業者に対する補助等に要する経費

☆私立保育園等整備助成経費「保育幼稚園課」
3億472万円

・教育・保育施設の改築を実施する事業者に対する整備費用の補助経費

☆保育環境向上等事業「保育幼稚園課」
1029万円

・教育・保育施設における保育環境の向上に資する設備・備品の更新等を実施する事業者に対する補助経費

☆保育施設等給食物価高騰等対策経費「保育幼稚園課」
1億3666万円

・保育施設等の給食にかかる食材費等の物価上昇相当分の補助等に要する経費

☆公立認定こども園整備事業「保育幼稚園課」
10億8179万円

・公立認定こども園の整備に要する経費(令和4～5年度継続費)
継続費総額 12億3548万円

地域(振)興(部)

☆地方創生移住支援事業「地域政策課」
2942万円

・県外から本市に移住し、就業、起業等を

した者への支援金の交付に要する経費

☆地域コミュニティ推進事業「協働推進課」
5805万円

・まちづくり協議会の設立支援および活動費助成等に要する経費

☆三重津海軍所跡整備事業「文化財課」
6395万円

・三重津海軍所跡整備における史跡追加指定地の用地取得および実施設計等に要する経費

☆市民芸術祭開催事業「歴史・文化課」
1500万円

・第11回市民芸術祭を文化会館周辺のリニューアルに合わせた記念事業として開催する実行委員会に対する補助経費

☆公民館のあり方検討事業「公民館支援課」
238万円

・今後の公民館の在り方(機能、役割、位置づけ等)についての検討会の実施、先進地視察等に要する経費

☆公民館施設整備事業「公民館支援課」
6億3305万円

・公民館(3館)の改築等に要する経費

☆アスリート育成支援事業「スポーツ振興課」
200万円

・合同会社SAGAいくすとが運営する高校生アスリート寮の運営費に対する補助経費

☆佐賀バルナーズ連携事業「スポーツ振興課」
5308万円

・佐賀バルナーズとの連携・交流に要する経費

☆スポーツ施設整備アクションプラン策定経費「スポーツ振興課」
105万円

・スポーツ施設の今後の施設整備のアクションプラン策定に要する経費

☆諸富文化体育館改修事業「スポーツ振興課」
8358万円

・諸富文化体育館の既存空調設備の改修に要する経費

〔令和5年度から令和6年度までの債務負担行為限度額〕
2億979万円

☆健康運動センター災害復旧事業「スポーツ振興課」
2億2527万円

・令和3年8月豪雨により被災した機械設備等の復旧経費

国入ポ・全障スポ推進部

☆国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業費「国入ポ・全障スポ総務課・競技課」
6億9284万円

・SAGA2024国入ポ競技別リハール大会の開催や本大会開催に向けた競技会場の実施設計、輸送計画策定、各種広報等に要する経費

教育部

☆特別支援教育推進事業「学校教育課」
2億7776万円

・障がい等により学校生活を送る上で困難さを感じている児童生徒を支援するための学校生活支援員および特別支援学級支援員の配置等に要する経費

☆オンライン英会話の試験導入経費「学校教育課」
271万円

・中学校の英語授業におけるオンライン英会話の試験導入に要する経費

☆休日部活動地域移行推進事業「学校教育課」
500万円

・休日部活動の地域移行に向けたモデル事業の実施に要する経費

☆教職員の多忙化解消関連経費「学校教育課・学事課」
1995万円

・教職員の多忙化解消のための教員業務支援員の配置および部活動指導員の活用に関する経費

☆学校ICT教育関係経費「学校教育課」
4億7334万円

・小中学校におけるICT教育環境の維持管理に要する経費

☆学校図書システム整備費・図書館情報ネットワークシステム更新事業「学校教育課・図書館」
1億5473万円

・学校図書館、市立図書館の図書システムの更新に要する経費

☆学校長寿命化改良・改築事業「教育総務課」
2億6930万円

・校舎等の予防改修(小学校3校、長寿命化(小学校2校、中学校1校)および改築(中学校1校)に要する経費

☆子育て応援情報配信事業・共育応援モデル事業「社会教育課」
91万円

・子育てに対する具体的なスキル、コツ等の動画配信や、子育て中の保護者同士の学びの場を提供する「なかまほいくプログラム」の実施に要する経費

☆SAGALIBRARYPARK基本構想・計画策定経費「図書館」
1547万円

・基本構想および基本計画の策定に要する経費

☆学校給食物価高騰等対策経費「学事課」
6892万円

・物価高騰等のため改定する学校給食費の値上げ相当分の補助経費



行政委員会

☆県議会議員選挙執行費「選挙管理委員会事務局」
9597万円

・任期満了に伴う県議会議員選挙に要する経費

令和4年度一般会計補正予算/条例等

令和4年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、緊急な措置を要する事業の経費のほか、国の予算措置に呼応した事業や決算見込み等による補正措置を講じています。

一般会計補正予算の総額は、約1億2600万円の減額で、補正後の予算総額は、約1120億7100万円となり、前年度同期に比べ4.3%の減となります。

◎一般会計補正予算の主なもの

★は新規事業

経済部

★プレミアム付地域振興券発行事業

2億5750万円
市内の店舗で利用できるプレミアム付地域振興券の発行に要する経費
〔繰越明許費〕



☆企業立地支援事業

932万円

・企業立地に伴う補助金
☆企業立地促進支援事業

4408万円

・市内移転（拡張）を行った企業の基盤整備費に対する補助経費

農林水産部

★ノリ養殖漁場改善緊急対策事業

5300万円

・漁業者が実施する栄養塩添加に要する経費に対する補助経費

〔繰越明許費〕

保健福祉部

☆介護給付費・訓練等給付費

2億6741万円

・障がい者の介護・訓練サービスに対する給付経費

子育て支援部

☆障がい児保育経費・特別支援教育経費

5151万円

・障がい児を受け入れる保育施設等に対する補助経費

◎国の予算措置に呼応した事業

農林水産部

☆漁港施設ストックマネジメント事業

2億1620万円

・機能保全計画に基づき実施する漁港施設の維持管理のための泊地や航路のしゅんせつに要する経費
〔繰越明許費〕

〔繰越明許費〕

建設部

☆川副中央幹線道路整備事業

8700万円

・有明海沿岸道路川副IC（仮称）のアクセス道路となる川

副中央幹線の道路改良工事に要する経費
〔繰越明許費〕

〔繰越明許費〕

教育部

☆開成小学校屋内運動場予防改修事業

1億893万円

・開成小学校屋内運動場の長寿命化のための屋上の防水層や外壁の予防的な改修工事等に要する経費
〔繰越明許費〕

〔繰越明許費〕



条例等の主なもの

佐賀市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例

・行政運営の簡素化や効率化を図り、もって市民生活の向上に寄与するため、条例や規則において書面等により行うこととされている手続等のオンライン化に必要な事項を定めるもの。

佐賀市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例

・全ての市民が、障がいの有無にかかわらず、互いに尊重し合い、いきいきと生活する地

域社会を実現するため、手話言語の普及および障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する基本理念を定め、市の責務や市民および事業者の役割を明らかにするとともに、施策の推進方針を定めるもの。

佐賀市事務分掌条例の一部を改正する条例

・まちづくりに関連する施策を総合的かつ効果的に推進するため、「都市戦略部」の新設等を行うもの。

「全会一致で可決」
▼子ども関連予算の確保と制度の拡充を求める意見書

意見書

人事

副市長の選任について同意した。

▽鈴木宏一郎氏
公平委員会委員の任命について同意した。

▽松永 政文氏
人権擁護委員候補者の推薦について、異議なき旨答申した。

▽土井健太郎氏
▽世戸 亜希氏

議案等の審議結果

議案番号	議案名	審議結果
令和5年度予算	1 一般会計予算	総額 1,046 億円 全会一致で可決
	2 国民健康保険特別会計予算	総額 264 億 7,900 万円 賛成多数で可決
	3 国民健康保険診療所特別会計予算	総額 1 億 2,800 万円 全会一致で可決
	4 後期高齢者医療特別会計予算	総額 38 億 3,800 万円 賛成多数で可決
	5 自動車運送事業会計予算 (市営バス)	総額 12 億 2,500 万円
	6 水道事業会計予算	総額 71 億 4,100 万円
	7 工業用水道事業会計予算	総額 3,000 万円
	8 下水道事業会計予算	総額 152 億 8,200 万円
	9 富士大和温泉病院事業会計予算	総額 19 億 2,800 万円
令和4年度補正予算	10 ※ 一般会計補正予算 (第10号)	補正額 △ 1 億 2,610 万円 全会一致で可決
	11 ※ 国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	補正額 6 億 3,402 万円
	12 ※ 国民健康保険診療所特別会計補正予算 (第2号)	補正額 △ 1,130 万円
	13 ※ 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	補正額 △ 2,053 万円
	14 ※ 自動車運送事業会計補正予算 (第2号) (市営バス)	
	15 ※ 水道事業会計補正予算 (第2号)	
	17 ※ 富士大和温泉病院事業会計補正予算 (第2号)	
条例	18 個人情報保護に関する法律施行条例	
	19 退職手当基金条例	
	20 情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	
	21 手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例	賛成多数で可決
	22 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の改正	
	23 ※ 事務分掌条例の改正	
	24 手数料条例の改正	
	25 市営住宅条例の改正	
	26 国民健康保険条例の改正	
	27 重度心身障害者に対する医療費の助成に関する条例の改正	
	28 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正	
	29 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正	
	30 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正	全会一致で可決
	31 公民館条例の改正	
32 体育施設条例の改正		
33 視聴覚ライブラリー設置条例の廃止		
34 佐賀市議会議員及び佐賀市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正		
一般	35 市道路線の廃止	蠣久東 1 号線ほか 1 路線
	36 市道路線の認定	平尾 5 号線ほか 14 路線
	37 ※ 佐賀市文化会館西側広場改修 (外構) 工事請負契約の一部変更	契約金額を 312 万 4 千円増額
	38 ※ 損害賠償の額の決定及び和解	
人事	39 副市長の選任	鈴木 宏一郎 氏 全会一致で同意
	40 公平委員会委員の選任	松永 政文 氏
条例	41 市議会の個人情報の保護に関する条例	全会一致で可決
	42 市議会委員会条例の改正	
請願	受理番号 1 学校給食費の食材費高騰分を保護者負担にしないでください	賛成多数で賛否採決

※は 3 月 3 日に議決、その他は 3 月 2 3 日に議決

賛否が分かれた議案等の採決結果

賛成：○ 反対：● 退席：退 欠席：欠

会派等	自由民主党										緑楠自民			公明党		ネットワーク佐賀		自民清流		さが市		佐																
氏名	福井章司	川副龍之介	西岡義広	嘉村弘和	千綿正明	江頭弘美	堤正之	重松徹	松永幹哉	永渕史孝	宮崎健	江原新子	川崎健二	稲葉高広	山口弘展	実松尊信	黒田利人	中野茂康	川原田裕明	村岡卓	中村宏志	野中宣明	中島妙子	山田誠一郎	松永憲明	久米勝也	富永明美	江口善己	藤田佳典	平原嘉徳	西岡真一	御厨洋行	白倉和子	山下明子	諸富八千代			
第 2 号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 4 号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 21 号議案に対する修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 21 号議案	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 受理番号 1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

さ…さが未来 市…市民共同 佐…佐賀みりの会
(重田音彦議員は議長のため、採決に加わりません)

議 案 等 質 疑

(質疑) 市民の声をどのように反映させるのか。

(答弁) 総合計画審議会委員の意見をはじめ、市民意向調査による意見や、パブリックコメント、市長と円卓トーク等での意見聴取を予定。また、デジタルツールを活用するなど意見を出しやすい環境づくりを心がけ、より多くの市民の意見を反映できるよう努める。

一般会計予算中 男女共同参画啓発・推進事業

(質疑) 事業効果をどのようにはかるのか。

(答弁) 地域女性活躍推進事業の事業評価については、交流会の参加者数とアンケートによる参加者の意識の変容を成果指標と考えており、参加者数の目標値を3回合計で200人に設定。アンケートでは、交流会に参加して結婚、出産後も仕事を続けたいと思うようになったか、管理監督職等になりたいと思うようになったかといった意識の変容を尋ね、事業の成果をはかりたい。

(質疑) ジェンダーギャップ指数のような全国・世界共通の指標の中で目標が達成されていない状況が明るみになる中、熱意を持って男女共同参画社会の実現に向けて取り組む思いはあるか。

(答弁) 都道府県版のジェンダーギャップ指数では、佐賀県は政治分野が全国で41位、経済分野が38位と低迷。本市は県庁所在都市で県内に占める事業者数も多いため、事業主および事業所で働く社員に対する支援策の充実が特に必要と考え、令和5年度は女性活躍推進のための交流会開催事業に新たに取り組み、男女共同参画のさらなる推進に向けて事業を展開する。

一般会計予算中 ゼロカーボン推進事業

(質疑) 太陽光パネルのリサイクルが確立されおらず、今後大量廃棄時代が到来し、山などに不法投棄された場合、鉛やセレン、カドミウムなどの有害物質が水源に混じることも考えられるが、市はどう考えるのか。

(答弁) 現在、九州に2カ所太陽光設備の処理施設があり、佐賀市内でも太陽光パネルのリサイクル事業を検討中の企業があると聞いている。リサイクル技術が確立していないということはビジネスチャンスでもあり、今後、リサイクル施設や処理施設はおのずと増えてくるものと考えている。

事務分掌条例の改正

(質疑) 事務分掌を改編する基本的な考えは。

(答弁) 変化の大きい時代だからこそ、未来を見据えて前向きに仕掛けていく、本市が先駆けて新たなことにチャレンジしていく、そういった点を意識した改編である。

(質疑) 男女共同参画課を政策推進部に位置づけた狙い、都市戦略部を新規に位置づける狙いは何か。

(答弁) 社会のあらゆる分野において女性が活躍できる機会をより一層創出することを目的とし、体制としても位置づけを明確にすることで、本市における男女共同、女性活躍推進の旗振り役として横断的に政策を推進する。また、計画的な土地利用と交通ネットワークの構築を一体的に考え、自然と都市機能が調和した住み続けたい魅力あるまちづくりを進めることが一層重要になってくることから、そのための体制強化として関連する部署を集約した。

佐賀市文化会館西側広場改修(外構)工事請負契約の一部変更

(質疑) 工期が2か月以上も遅れると判断した理由と約300万円増額した積算根拠は。

(答弁) 県や市が発注する複数工事との調整により工期が遅れた。工期延長に伴う共通仮設費、現場管理費、一般管理費といった諸経費の増額分が約100万円、国道の横断歩道橋である(仮称)栄光橋の階段下物置を縮小したことにより広がった空間を有効活用するためのベンチの追加や形状変更で約200万円の増額となった。

(質疑) 工事の期間延長によって文化会館の運営やイベント等への支障はないのか。

(答弁) 文化会館へ来場される方や催しの主催者には歩行者の動線が制限されるなど少なからず不便をおかけするが、引き続き安全対策を行い、速やかに工事を進め、工期の短縮に努めたい。

一般会計予算中 総合計画策定事業

(質疑) 総合計画審議会の委員構成はどのように考えているか。

(答弁) 委員選考に当たっては、産業界や高等教育など様々な分野における有識者をはじめ、まちづくり団体など地域活動を実践されている代表の方々や公募委員等から、年代や性別なども考慮しながら幅広く構成したい。

議 案 等 質 疑

(答弁) これまでは主に九州各県をターゲットにした紙媒体やイベントでのPRが多かったが、もっと多くの方に来ていただくために首都圏に向けた情報発信の必要性を感じていた。今後は20歳代から40歳代の若い方をターゲットに、バルーンフェスタを全国区の佐賀市ブランドに確立することと併せ、本市が有する豊かな自然、食、環境、観光、暮らしやすさ、子育てしやすさなどの魅力を発信することで、交流人口や移住人口の増加につなげたい。

一般会計予算中 街なか遊休不動産マッチング推進事業補助金

(質疑) この事業で問題が解決できるのか。

(答弁) この補助金だけで遊休不動産を全て解消できるものではないが、所有者を対象とする補助金を新たに設けることで、所有者が対応すべき工事を後押しするとともに、全く活用を考えていない所有者に向けても補助制度をPRすることで、物件を活用する一歩目を踏み出す呼び水にしていきたい。

一般会計予算中 中央大通り「さがすたいる」推進事業補助金

(質疑) 当事者の意見を取り入れながら、事業者に気づきを持ってもらえるような取り組みを考える必要があるのではないかと。

(答弁) 県の補助金は、令和5年度から高齢者や障がいのある方などの当事者を講師に招いて、直接コミュニケーションを取りながら学ぶ「さがすたいるゼミ」や、「さがすたいるセミナー」への参加を補助要件として追加される予定。また、ハード補助だけでなく、ユニバーサルデザイン化の促進に向けた無料相談窓口をはじめ、事業者が当事者の思いを理解できるような機会が提供されるなど、ソフト面の事業も充実されている。県や庁内の関係部署、関係団体とも協力して、当事者の方々の思いをまちなかの事業者に理解してもらい、実践へとつながるよう知恵を絞りたい。

一般会計予算中 都市計画マスタープラン策定経費、立地適正化計画策定経費

(質疑) まちのゾーニングは住民の生活に直結する問題であるため、市民の声を聞いて反映させる仕組みをどう考えるか。

(答弁) 市民アンケートやパブリックコメントに加え、市民の声を直接聞く場などを検討し、都市の将来像などを一緒に議論するための取り組みを実施したい。さらに、都市計画マスタープランの素案作成後に、市民説明会など市民に広く周知するための取り組みも検討している。

(質疑) 世界の太陽光パネルの85%が中国製で、その内、ウイグルでの生産が約半分と言われているため、ウイグル人の強制労働で作られた太陽光パネルに補助を出すことは、強制労働を肯定することにならないか。

(答弁) 太陽光パネル全てが強制労働で作られているわけでない。補助金対象の太陽光発電設備が強制労働で作られたのか確認はできず、設置する企業がサプライチェーンの評価を行うと考えており、パネル普及と強制労働は別に論じられるべき。

佐賀市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例

(質疑) 障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の一つである手話だけを条例の名称に入れるのはなぜか。

(答弁) 条例の内容が、手話が言語であることの理解、普及と全ての障がい者のコミュニケーション手段の利用促進という2つの大きな目的があるため。

(質疑) パブリックコメントで出た意見がどう反映されたのか。

(答弁) パブリックコメントでは、手話言語が特記されているのは違和感があるという意見や、手話言語について権利が侵害されてきた歴史があることについても追加してほしいというような意見、条例を制定して早く施策を進めてもらいたいという意見もあった。情報コミュニケーション条例を制定された自治体の約6割程度が名称に手話言語をつけており、制定後の取り組みに大きな影響は出ていないことなどを総合的に判断して名称を決定した。

(質疑) 障がい者の各種団体から提出された要望書の内容に対する市の見解は。

(答弁) 本条例は特定のコミュニケーション手段を特別扱いするものではないため、誤解を招かないよう略称や通称といった工夫が必要。条例制定を機に、基本理念に掲げる市民の方の障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の理解を深め、コミュニケーション手段を自ら選択し、利用できる環境づくりを進める。

一般会計予算中 「バルーンフェスタ」ブランド強化プロモーション事業

(質疑) 40年以上にわたりバルーンフェスタが行われてきて、世界選手権大会が3回も開かれ、佐賀市はバルーンの里だという思いでやってきたが、これまでしてきたことと今回の違いは。

総務

一般会計予算中、選挙啓発経費

〔質問〕専門的な調査会社に依頼して、投票率が下がっている現状の調査を行い、原因を明らかにするべきではないか。

〔答弁〕まずは、若年層を含めた主催者教育に力を入れたい。他自治体の状況を見て、参考となる事例の調査を考えている。専門的な調査は、内部で検討しながら、よりよい方策を考えていきたい。

福祉教育

佐賀市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例

〔質問〕条例名称について、「手話言語の普及」の文言に関するさまざまな要望等が出ていますが、どう受け止めているか。

〔答弁〕条例の目的は、手話言語の普及と、障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進の2つであることから、この条例名称とすることとした。全ての障がいについて理解を深める必要があることを十分に認識いただくため、条例の内容についての周知を丁寧

同予算中、市民芸術祭開催事業

〔質問〕SAGAアリーナも完成し、盛り上がる企画を待っている。市民が一体となって参加できる企画を考えてほしいが、どう考えているのか。



〔答弁〕コロナ禍もあり、3年間縮小した形で実施してきたが、来年度は文化会館リニューアル記念で、予算も例年に比べ多く計上している。実行委員会では来年度に向けての検討を始めており、イン

常任委員会

行う必要があると考えている。

請願 「学校給食費の食材費高騰分を保護者負担にしないでください」

〔請願趣旨〕昨今の物価高騰の影響で学校給食費が値上げされることが保護者へ通知されたが、家計が大変厳しい中、値

上げ分が直接保護者負担になるのは困るという声が複数寄せられた。県内他自治体では保護者負担を軽減する事例が出てきており、令和5年



パクトがあるものになるように頂いた意見を伝えたい。

同予算中、さが桜マラソン大会負担金

〔質問〕参加料が高額であるため、出場を断念したとの声を多く聞いた。高額な参加料は、課題として検討するよう運営委員会に意見をお願いしたいがどうか。

〔答弁〕全国的に定員割れの状況であり、参加料が高いとの意見は伺っている。次年度以降について、経費の節減と合わせ、参加料の見直しについても運営委員会でしっかり協議したい。

度に限れば、保護者負担増を抑える措置が講じられているが、令和6年度以降も保護者負担増にならないようにしてほしい。

〔紹介議員への質問〕請願の趣旨は、物価高騰分を市が継続的に負担すべきという考えか。

〔紹介議員〕令和6年度以降も給食費を値上げしないことが、子育て支援につながるかと考えており、市が負担すべきと考えている。

〔執行部への質問〕無償化等を行っている自治体の予算措置はどうか。

同予算中、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業費

〔質問〕鹿児島国体応援ツアーは運営ボランティアや競技団体と連携協定を結んだ地域の方々に対象に考えているとのことだが、地域が連携協定を結ぶことでの線引きを今後していくのか。

〔答弁〕全ての地域がどこかの競技団体と連携協定を結んでほしいと考えている訳ではない。地域の意向が優先であり、いろんな形で市民の方にSAGA2024に関わっていただきたいと考える。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

〔答弁〕国からの補助はないが、ふるさと納税等を財源にしている事例がある。

〔審査結果〕第21号議案「佐賀市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」の名称及び条文の一部から、「手話言語の普及及び」を削除する修正案が提出され、採決の結果、修正案を可決すべきものと決定。また、修正案を除く第21号議案およびその他の議案については、可決すべきものと決定。請願については、趣旨採択すべきものと決定。

※1 趣旨採択…請願の趣旨に妥当性はあるが、実現性が低い場合に採られる決定方法

経済産業

一般会計予算中、トレーニング
ファーム整備推進事業費補助金

〔質問〕 農業で収益を確保するには、販路の拡大が必要だと思うがどうか。

〔答弁〕 現在、市では、ゴマや唐辛子の販路拡大に取り組んでおり、品目を増やすことも必要であると考えている。

〔質問〕 令和5年度の予算が、令和4年度に比べて少ない理由は何か。

〔答弁〕 令和4年度は就農奨励金等の支援拡充を行い、対象者へ過去の分にも遡及して支給したが、令和5年度はその分を減額しているため予算が減少している。

同予算中、経営発展支援事業費
補助金

〔質問〕 この事業は昨年6月に補正予算として上げられ、2月の補正予算で減額している。令和5年度の予算は希望者と連絡を密にとった上で、執行できると考えて計上しているのか。

〔答弁〕 令和5年度中に就農を考えられている方と協議し、現在把握している分で予算を計上している。

〔意見〕 さまざまな事業の中で、ハードルが高く予算が余っている状況がある。予算を余らすのではなく、足りずに補正が必要となるくらいに事業を推進してほしい。

同予算中、街なかリーディング
促進事業委託料

〔質問〕 街なかとSAGAアリーナの行き来について、交通局と協議等を密に行っているのか。

〔答弁〕 移動には公共交通機関の役割が重要であるとの共通認識のもと連携している。市営バスだけではなく民間のバス事業者との連携も予定しており、今後も

算を余らすのではなく、足りずに補正が必要となるくらいに事業を推進してほしい。

〔意見〕 市営バスだけではなく民間事業者を生かすことも事業の目的であり、関係者で連携しながら推進していくことが大事なので、その点を踏まえて取り組んでいただきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。



建設環境

一般会計予算中、光法団地
建替事業（継続費）

〔質問〕 総事業費約11億円を単純に戸数の39戸で割り戻した場合、1戸当たりの事業費は約2800万円にもなる。建築費が高騰した影響なのか。

〔答弁〕 木材もコンクリートも資材費が非常に高騰し、高止まりの状態にある。建築費の高騰は家賃に影響するため、設計の段階で建築費を抑えるよう取り組み、華美でなくバリアフリーに配慮した設計となった。

常任委員会

同予算中、地域猫不妊去勢手術
助成金

〔質問〕 前年から予算を50万円減額したのはどのような検証結果に基づいて算出したのか。

〔答弁〕 昨年度は雄猫が非常に多かったため予算に余裕があった。捕獲した猫の雄と雌の割合は年によって変動するため、実績額の平均的な数値



を見ながら予算計上し結果的に減額となった。

〔質問〕 地域猫については対応策をさらに検討すべきと考える。他の自治体等も苦慮している課題であるため、地域の実情をより確実に把握したうえで予算計上すべきである。雄と雌の比率が昨年度と逆の割合となり、予算が足りなくなれば、補正予算での対応はあり得るのか。

〔答弁〕 予算措置については、現状をしっかり把握して対応していきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

一般質問

「市政 ここが聞きたい」



議会動画配信

3月3日(金)

どうなる、次世代農業は

中野 茂康 (緑楠市長)



農産物価格の低迷、担い手の減少、生産資源の高騰により農業経営が厳しくなっている中、久保田町で次世代につながる効率的で収益の高い久保田町農業の実現に向け、農協青年部等の参加でワークショップが開催された。経営・体育成基盤整備事業について問う。

答弁 久保田地区の圃場整備から40年以上経過した。パイプライン等の老朽化が進み、揚水排水機能が低下して農地の汎用化・高度利用の阻害要因となっている。農業生産基盤の整備で効率的かつ安定的な農業経営を確保し持続可能な農業の展開をハード・ソフト両面から一体的に整備するもの。農地の集積集約を促進し、高収益作物の転換へつながるよう県や関係団体と協力しながら取り組む。

◆その他◆漁業振興について／さが桜マラソン2023について



地域ぐるみのイノシシ対策に支援を

西岡 真一 (自民清流)



最近、街中へのイノシシ出没が多い。①直近でどれくらい捕獲しているか②市民がイノシシに遭遇した場合、どのように行動したらいいのか③地域におけるイノシシ対策を更に進めていく上では、市民の協力が重要と思うが、どのように取り組んでいくのか。

答弁 ①昨年度で1856頭、今年度は令和5年1月までに2442頭と大きく増加②「近づかない」「刺激しない」の2点が重要。落ち着いて、大声を出したり物を投げたりせず、背中を見せずにゆっくりと立ち去るようにしてほしい③「捕獲対策」「棲み分け対策」「侵入防止対策」の3つをバランスよく、地域ぐるみで実施するのが効果的。富士町と金立町での自衛組織の取り組みが、他にも広がるよう支援していきたい。

◆その他◆指定管理者について／新幹線を契機としたまちづくりについて



佐賀空港の自衛隊 共用の背景を問う

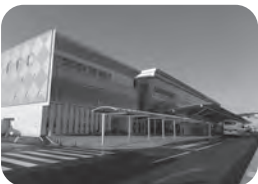
江口 善己 (ネットワーカー佐賀)



佐賀空港建設の歴史や公害防止協定が締結された背景とオスプレイを容認された市長の所見を問う。①住民説明会の成果は②米軍の常駐への懸念は③用地取得や格納庫の規模・排水などについて④川副町では再度の住民説明会を求める声が多いが、その対応は。

答弁 これまでの歴史・背景を踏まえて住民の安心・安全を守る視点、国防の視点から検討を重ね苦渋の思いで受け入れを決断。①5回の説明会が出た意見を踏まえ防衛省へ照会した②現時点で米軍の常駐計画はないと確認③地権者の意に反して土地を収用しない、格納庫等を33畝の範囲内に配置、排水で有明海や漁業に影響が出ないように万全を尽くすと防衛省と合意④防衛省が排水対策等に関する説明会を開催予定と認識。

◆その他◆有明海の異変によるノリ養殖



3月6日(月)



佐賀県立大学
誘致の実現を

実松 尊信 (緑橋自民)



①県立大学を是が非でも佐賀市に誘致するんだという意気込みを市長は持っているのか②学生の県外流出を減らすことも大事だが、卒業後、県内市内で就職し地元に住んでもらうことが大切だ。これまで以上に受け皿となる企業誘致に力を入れるべきではないか。

答弁 ①今回の文理融合型の大学を誘致することで、本市しかできない人材育成を実践し、また、地方から新たな価値を生み出すリッチローカルをつくり出す絶好のチャンスでもあるため、是が非でも誘致したい②県立大学を誘致できた場合、実践的な人材が育成され、その人材確保のため新たな企業の進出も期待できる。また、産業の裾野が広がるチャンスでもあるため、これまで以上に企業誘致に取り組みたい。



市職員の健康管理
の徹底を！

富永 明美 (ネットワーク)



休職する地方公務員は増加傾向にあり本市も例外ではない。心身ともに健康であることは職員個人だけでなく、市民サービスに直結し市にとっても大切なことである。①定年延長制度が始まる中、さらに健康管理が重要視されるが見解を②職員の負担軽減の対策は。

答弁 ①健康で働き続けるためには若年期からの健康管理が大切と認識。若年期の職員には生活習慣を整えること等が健康障害リスクの軽減につながるのと周知、中・更年期の職員には自身の身体能力を自覚できる機会を設けることができないか検討。健康診断結果が思わしくない場合は保健指導で予防の重要性を伝える行動変容につながる取り組みをさらに進める②AIやRPAといったデジタル技術を活用した取り組みや事務事業の見直し、効率化に今後も取り組む。



国保税の均等割
など負担軽減を

山下 明子 (市民共同)



国保税は協会けんぽと比べると、事業主負担がなく、世帯人員一人当たりの均等割もあるため負担が重い。国は未就学児の均等割の軽減を始めたが医療費助成の対象である中学生まで拡大を。①佐賀市での試算は②広域化の中でも共通の軽減策として提起すべき。

答弁 ①約2550万円の増となる見込み②平成30年度に佐賀県が国保財政運営の責任主体となり、令和9年度の県内国保税率一本化に向けサービスの平準化の動きが進む中、軽減対象の拡大部分が全額佐賀市負担となることもあり、佐賀市独自で行うことは難しいが、未就学児の軽減は国への要望などを続けてきた結果実現した経緯があるので、その範囲拡大も引き続き国に要望していきたい。



50戸連檐制度の
一部見直しを！

山口 弘展 (緑橋自民)



①近年の建設物価高騰で住宅の新築着工に影響が出ていると聞く。若年層が購入しやすくするために、現在の最低敷地面積(250平方メートル)の基準を下げるべきでは②施行から15年が経過した本制度の見直しについて、具体的な検討は始まっているのか。

答弁 ①最低敷地面積を下げることで若年層を中心とした需要が見込まれ、分譲宅地開発における区画数が増加することで経済効果が見込まれるが、この制度は市街化調整区域で行われる開発であり、既存集落を含めた周辺環境等の調和などを総合的に考慮し、優良な住宅環境を確保する観点から、見直しは考えていない②現在、この制度がコンパクトなまちづくりにつながるような影響を及ぼす可能性があるか、アンケート調査と分析調査を実施している。



◆その他◆固定資産税等の課税について

カラス被害へのさらなる対策を!!



福井 章司 (自由民主党)



①市中心部で増加するミヤマガラスに対して音声による追い払い実験をされたが結果は②一定の効果があったとのことだが課題は③音声による追い払いで他地域に集団で移動していないか④今後の対策はどう考えるか。

山間地域の光回線整備の早期実現を



松永 憲明 (ネットワフ 佐賀)



①教育条件の平等性の観点からタブレットを用いたオンライン授業などを家庭で受けられるよう、インターネット環境整備を急ぐべきでは②光回線整備はIT関連企業の進出にも良い条件整備となるので前向きな対応を求める。

道徳教科の大切さを教育長に問う



御厨 洋行 (自民清流)



子どもたちの心の教育は大変重要であると考えます。①身近な動物、犬や猫の命について学ぶ機会は②教科書の物語ではなく、自分事として考えることが大切では③当事者や経験者を招くゲストティーチャーの活用は④来年度の取り組みは。

自衛隊駐屯地計画の真意を問う!



江頭 弘美 (自由民主党)



今回市長が防衛省に対し「市民生活への影響等について防衛省に確認する8項目」を確認させて合意事項を締結したことを、私は重く受け止めて評価する。受け入れ表明した今、国防及び自衛隊と自治体との関わり方について、改めて市長の具体的な見解を伺う。

答弁 ①追い払い音声でほとんどのカラスが飛び立ち、一定期間は効果が持続した②ふん害が改善されていない。交差点では交通量が多く音声が届かぬため効果がある範囲が限定される③他の電線に移った形跡はなかった④来年度も実験を継続したいが、スピーカーの位置や個数、音量等を適切に調整し、時間帯も検討する。ふん害の対応として電線へ止まりにくくする器具の実験も検討する。

◆その他◆県立大学の誘致について／佐賀駅南側のクスノキ伐採について／識字率向上について



答弁 ①北部山間地域では、ケーブルテレビ回線を利用しているため、回線の速度不足による不具合が時折発生している。オンライン授業では画像が止まったり音声がかたたりすることも考えられる。双方向の通信ヘインターネットの利用方法が変化しているため速度改善が望まれる②通信速度不足は地域の企業活動に影響するため、回線の光化は必要。整備の在り方を検討している。

◆その他◆放課後児童クラブの拡充／教職員の働き方改革／特別支援学級の課題解決について



答弁 ①犬や猫に限らず、動物の命について道徳科の授業で教材として取り扱っている。道徳科以外の教科においても、動物を育て自然との関わりに関心を持つような体験活動を行っている②児童・生徒の実態に応じた教育のため、学校自作のものや地域の方の話を教材として使用している③戦争の体験者や障がい者の方の思いに触れるために学校に招き、話を聞くなどしている④道徳科の授業のさらなる改善、研修の充実を図る。保護者や地域の方々と共に学ぶ機会を充実させた



答弁 我が国を取り巻く安全保障環境は近年その厳しさを増しており、ひとたび国の安全が脅かされれば、私たちの平穏な生活や産業経済活動にも影響が及ぶため、国防は国全体で分かち合うとの考え方について理解している。自衛隊との関わりについては、近年多発する自然災害等では、部隊等を派遣するなど、その任務は大きな役割があり、その存在は非常に心強い。市のイベントに参加いただくなど、日頃から顔の見える関係を築いている。さらに、本市の防災対策にも参画している。



3月8日(水)

本市の子育て支援の強みは何か

諸富八千代 (佐賀みどり会)



少子化が想定より早く進み、政府は「異次元の少子化対策」を掲げ、各自治体が独自の子育て支援策を打ち出している。本市の取り組み①産前・産後ケア②増加する発達特性のある子どもへの支援③第2子保育料無償化への考え④子ども医療費助成拡充を問う。

答弁 ①妊婦の健康状況や養育環境等を把握し支援が必要であれば訪問や関係機関と連携して支援を行う。産後ケア訪問や母子共に医療機関で休養の機会を提供するショートステイ事業を実施②関係機関と連携し早期発見・支援の体制づくりのほかLINEを活用した情報発信を検討③国の基準より低くして経済的負担軽減に取り組んでおり、無償化は継続的財源確保が難しい④高校生まで拡充するには財政負担が大きく継続して県に財政支援を求め。



地域活動への積極的な参画を

川崎 健二 (自由民主党)



今年、新聞で民生委員のなり手がなく困窮している投書が2件あった。同様に老人クラブや子どもクラブ等でも困っている。①市職員のまちづくりへの参画はどうか②退職・再任用の市職員へのはたらきかけは③企業等のまちづくりへの参画促進の手だては。

答弁 ①職員が地域活動に関わりその実情を知ることが大切だが、時間的な制約がある中、困難な場合もある。それぞれの実情に応じ可能な範囲で関わってほしい②現役時代の経験を地域活動に生かすことは有意義である。本市の退職者説明会においても地域活動への参画を呼び掛けている③競争入札参加者資格審査の中で、地域貢献や社会貢献の項目で加点を行う制度を設け、建設業に参画を促している。



多布施川河畔公園交通整備と活用を

中村 宏志 (公明党)



①東側市道の離合場所等の安全対策を行うべきでは②河畔遊歩道の安全確保と拡幅整備を行うべきでは③老朽化した健康遊具等の整備を行うべきでは④桜並木川沿い等で夜間に楽しめる電飾等の観光活用はどうか⑤多布施川周辺を活用した健康づくりは。

答弁 ①当面の安全対策として、路面標示等を実施したい。状況に応じて佐賀県・警察等と連携し、離合場所の確保等を検討したい②遊歩道の幅員が狭い箇所については可能な限り幅員の確保に努めたい③利用状況を確認しながら施設の更新を検討したい④桜の開花に合わせ、夜間も桜が楽しめるようぼんぼりを設置。観光客へのPRとしてSNSを活用し、情報発信に努めたい⑤市HPに掲載中の「佐賀市ウォーキングマップ」において多布施川の自然を堪能しながら歩くコースを7つ設定。



3月9日(木)

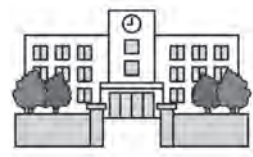
佐賀市南部に特別支援学校設置を!!

山田誠一郎 (ネットワーク佐賀)



①特別支援学校設置に向けた教育長の動きは②県内の知的に障がいのある子ども達が通学可能な特別支援学校と通える地域は③通学が困難な子ども達は佐賀市だけではない。教育長の考えは④南部地域の子ども達が通学できる特別支援学校の設置に向けた対応は。

答弁 ①今年度は県との話し合いのテーマが決まっており、4月の会議で設置等について話し合う②佐賀・神埼等は大和特別支援学校、吉野ヶ里・上峰等は中原特別支援学校、ほかに3校ある③県運行のスクールバスもあるが路線が合わない、学校まで距離があるなど佐賀市以外の近隣市町でも通うことが困難な子どもはいると考える④佐賀市も含めて南部地域に学校ができると通いやすくなる。設置に向けて他市町の教育長と連携し県に働きかけることを考えていく。



◆その他◆放課後児童クラブ他2項目

人にも動物にも 優しい佐賀市に！

村岡 卓 (公明党)



飼い犬の長寿命化により人間同様に生活習慣病や認知症状を発症する事例も増えてきた。①高齢犬に対する取り組みは②新たな国家資格「愛玩動物看護師」に対して期待することは③フン害解決に向けて、条例以外に「イエローチヨーク作戦」を実施してはどうか。

学校選択制の課題 解決の具体策とは

永瀬 史孝 (自由民主党)



①若楠小学校区児童の指定校以外への現在の就学状況は②隣接校選択制の結果により若楠小学校の統廃合を行う可能性はあるのか③小、中規模校を支える観点を教育委員会は持っているのか④市と連携をし、問題の解決に向かう具体策が必要では。

带状疱疹ワクチン の公費助成を！

中島 妙子 (公明党)



長引くコロナ禍で带状疱疹を発症する高齢者が急増している。ワクチン接種で予防できるが、全額自己負担のため接種を希望する市民には大きなハードルとなる。①公費助成についての考えは②带状疱疹の症状及びワクチンに関する情報発信・周知ができないか。

水田活用支払交付 金見直しの影響は

川副龍之介 (自由民主党)




①水田活用支払交付金の見直しは農家に対して厳しいものになっているが、その内容は②交付対象外農地は付加価値が下がり、作付する農業者がいなくなると懸念される。将来、交付対象外農地は耕作放棄地になる恐れがあるが、このことに対する市の見解は。


答弁 ①犬の飼い方などをまとめたパンフレットを動物との共生啓発イベントなどで配布し啓発②動物病院などでのより質の高い医療の提供を可能とする。また、高齢動物のケア、動物の栄養管理などに関する専門的な助言、指導の担い手として、高齢者施設でのセラピー活動などのサポートやペットショップなどでの指導的な役割に期待する③似た取り組みで市職員が放置されたふんにチヨークの粉をかけて飼い主に警告しており、他市の先進事例を参考に市民と一緒に


なった対策の導入を検討する。


答弁 ①対象児童のうち165人が他の学校に就学している②学校運営に支障が出れば、検討が必要だが、若楠小は統廃合が必要な状況にない③教職員の配置数が少ないことによる課題への人的な支援や、地域と協力し学校づくりを行うコミュニティスクールの設置を推進している④学校のよさを伝えるため、フリー参観デーのコロナ禍前の形での実施、学校情報配信メールやマスコミ等を活用した情報発信、地域と連携し保護者への啓発に取り組んでいく。

◆その他◆不足する保育士を目指す環境づくり


答弁 ①国の審議会では、ワクチン接種で期待される効果等について引き続き検討が必要とされている。当面の間、国の動向やワクチンの有効性、安全性等を注視していきたい。また、費用が高額であることから公費助成については慎重に検討していくべきと考える②重症化すれば顔面麻痺等を引き起こす可能性があり、早期受診及び早期治療の重要性と、発症を予防できるワクチンについてホームページ等で周知していきたい。

◆その他◆放課後児童クラブについて／医療費助成制度について


答弁 ①災害復旧等を除き、5年のうち一度も水張りをしない農地は交付対象としない要件が追加され、レンコン栽培やハウス栽培は対象外となる②地主が農地をハウス栽培に貸さない状況が予測され、借地を希望する農家が農地を確保できるように県やJA等と連携した相談体制を推進する。交付対象水田の厳格化や畑地化促進事業を周知する中で同様の意見をいただいております、地域の課題として国に報告している。

◆その他◆佐賀県立大学の設立構想について／SAGAアリーナにおける来場対策について


3月10日(金)

エネルギー支出の 域内循環実現を

稲葉 高広 (自由民主党)



本市の清掃工場ではゴミ焼却熱を利用し、発電を行う電気の地産地消に取り組んでいる。その電力を地域新電力を設立し、地域新電力に売電することでエネルギー支出流出を防ぐことができ、域内の経済循環を高めることに繋がると考えるが本市の考えはどうか。

答弁 全国では70社ほどの自治体
が関与する地域新電力会社が設置さ
れ、その中で廃棄物発電を電源とし
ている会社は12社ある。自前の電源
が確保できている会社では、電力の
市場価格高騰の影響が少ない。地域
新電力会社の設立は、再生可能エネ
ルギーの普及や電気代の価格高騰な
どの地域課題の解決につながる取り
組みとして有効な手段の一つである
と考える。今後、他の自治体の先行
事例を参考に、電力
市場の状況等を的確
に把握し、本市に
とってよりよい方策
を検討していきま
い。



3月13日(月)

市内の高校に期日前 投票所の設置を

黒田 利人 (緑橋自民)



若者が選挙に行かない現実がある。
昨年、佐賀工業高校で実施して効果が
あった期日前投票所の設置を、市内の
他の高校や短大でも行い、若者の投票
率アップに努めるべきである。市の考
えを問う。

答弁 佐賀工業高校では令和2年
度から選挙の出前授業を実施してき
た。この体験を生かすため、昨年12
月の佐賀県知事選挙の際に県内高校
初となる期日前投票所を設置した。
同投票所だけではないが、選挙権を
有していた生徒の約70%が投票した
とのこと、本市の18歳の投票率と
比較し非常に高い割合であった。啓
発効果もあったと考えられ、投票所
の執行体制の確保等を十分検討した
上で、短大や他の
高校への設置も進
めていきたい。



佐賀工業高校の期日前投票所

◆その他◆島義勇
公の功績をたたえ
た施策について

清掃工場改修時の コストと対応は

松永 幹哉 (自由民主党)



清掃工場は今年4月で供用から20年
が経過するが、令和6年度から諸富町
と三瀬村のごみを受け入れる予定であ
る。このため処理量の増加が予想され、
改修が必要とのことである。改修時の
コスト削減と清掃工場の地元地区への
対応について、どう考えているのか。

答弁 改修に係る経費の低減だけ
でなく、維持管理に係るランニン
グコストの削減も重要であり、既存
施設を有効に活用しながら、全国の
様々な事例を研究することでコスト
削減策を進めていく必要があると考
えている。
清掃工場の地元自治会には、令和
2年度に大規模改修を行いたい旨を
伝えている。地元自治会のほか、周
辺の自治会に対しても、順次丁寧
に説明していきま
いと考えている。



◆その他◆佐賀市
過疎地域持続的発
展計画と中山間地
域振興策について

ノリ養殖における 色落ちの重大さ

重松 徹 (自由民主党)



毎年発生する植物プランクトン7種
のスケルトネマ属を、DNA配列から
有明海にいる種がどんな種なのか判別
する検査方法が佐賀大学の研究で開発
された。これにより種別の特性に合わ
せた生産管理ができ、画期的な赤潮対
策になると思うがどうか。

答弁 佐賀大学と佐賀県の共同で
研究が行われており、有明海でノリ
養殖の色落ちや貧酸素化による二枚
貝のへい死の原因となる珪藻スケレ
トネマ属の種類を特定することで、
増殖傾向を解明しノリ養殖や赤潮対
策に役立てるもの。今後研究が進み
スケルトネマの増殖しやすい状況な
ど解明ができれば、赤潮の発生予測
やノリの摘み取りタイミングなどの
生産管理に役立てる
ことができると思
っている。



◆その他◆イノシシ
被害の現状と今後の
対策についてにつ
いて

3月13日月

駅周辺再開発と 観光振興は

江原 新子 (自由民主党)



①駅前交流広場整備完了でハード面は整った。街の賑わい創出には今後、民間と連携した施策が重要であると思ふがどのように取り組むのか②旧西友駐車場敷地の民間開発誘導への進捗状況は③国スポ・全障スポ後を見据えた観光振興についての考えは。

答弁 ①令和5年度から指定管理者による管理運営を開始、今後賑わいの創出と集客、交流の活性化に努めたい②コロナ禍により進捗が遅れているが事業者ヒアリングや新たな事業者の掘り起こしを継続していくとともに行政支援など事業者が開発に参入しやすい環境づくりを検討し、早い時期の事業者公募に向け鋭意取り組んでいきたい③リハースポル大会を含むSAGA2024国スポ・全障スポでの盛り上がりを引き続き観光の振興に繋げていくことが重要と考える。

◆その他◆防災意識の醸成



3月14日火

人口減少対策の さらなる推進を

久米 勝也 (ネットワーク佐賀)



シビックプライド(郷土愛)の醸成は市民が主体となったまちづくりを進める上で非常に有効であり、市役所各部署のさまざまな政策に関わっている。人口減少対策をさらに推進する為に全庁的にシビックプライドの醸成に取り組むべきと思うが、市の考えは。

答弁 市民がまちに對する誇りや愛着の意識を高めることは本市への人の流れを生み出すことに繋がります。まちづくりにとって大変重要な要素と捉えている。市民が主体的にまちに関わり、暮らしやすいまちの姿とともに考え、ともにつくる、そのようなまちづくりを全庁的に意識して取り組み、シビックプライドの醸成に繋げていきたい。実現するための取り組みの一つとしてスーパーアプリを活用し、市民が気軽にまちづくりに参加できるようなシビックテックを進めていきたいと考えている。



佐賀県立大学誘致 は佐賀市に必要か

平原 嘉徳 (自民清流)



全国的な教員不足の中、学生の県外流出防止策など不確定要素が多い。世界デジタル競争力で、我が国は63カ国中62位の項目がある。本市はメタバースのバーチャルリアリティ最先端技術専門学校誘致を優先させ、佐賀市から世界へ羽ばたく人材を育成すべきでは。

答弁 今後県において具体的な検討が進む中で、学生や教員が集まるかどうか、経営が成り立つかどうか、市としては、佐賀の子どもたちの希望をかなえ、人材育成と仕事の好循環をつくり、地元に残って活躍したいという若者が増えること、地域の教育力の向上に寄与すること、経済的な波及効果、これら地域にとつてさまざまな効果が期待される県立大学の誘致をまずは進めていきたい。

◆その他◆オスプレイの佐賀空港配備計画について



養殖ノリ色落ち被害 現地調査を実施!

経済産業委員会では、1月20日に有明海のノリ漁場の現地調査を行いました。初めに佐賀県有明海漁業協同組合から説明があり、船に乗り漁場でノリの状態について確認した後、質疑を行いました。現地調査後、議会の会議室において、委員間協議を行いました。



現地調査の様子

※3 シビックテック…シビック (Civic: 市民) とテック (Tech: テクノロジー) をかけあわせた造語。市民自身がテクノロジーを活用して社会課題を解決したり、生活の利便性を向上させるための取り組みのこと。

総務委員会 意見交換会を開催!

総務委員会では、1月25日に市内公民館長と意見交換会を行いました。

①地域コミュニティの場としての公民館とは②公民館の防災避難所としての在り方について③公民館の現状についての3つのテーマで活発な意見交換を行いました。



意見交換会の様子

視察報告

議会広報広聴委員会

視察者9名

(永瀨、山下、中島、藤田、江口、諸岡、稲葉、西岡真一、中野)

◎議会報告会について

佐賀市議会では平成21年4月に佐賀市議会基本条例を施行、平成22年度から議会報告会を開催している。平成31年度まで市内の複数公民館を回って開催していたが、令和2・3年度の中止を経て、令和4年度から従来とは違う開催方法を検討検証している。

2月15日(水)

兵庫県西脇市

西脇市の議員数は16名で「議会と語る会」は議員3人1班で構成し、1回の開催で市内80自治会のうち20自治会を回り、1年に2回開催して2年で全自治会を回るように開催している。実際の会場での開催に加えて、令和3年8月からはコロナ対策を意識してオンライン開催も追加するようになった。

オンラインゆえの課題として、周りの雰囲気を読みづらいこと、他の人の声が聞こえない



西脇市視察の様子

ため司会である議員と参加者の1対1の構造になりやすく、ファシリテーション能力が求められることなどが挙げられた。

2月16日(木)

滋賀県栗東市

栗東市は平成25年5月から対面型議会報告会を実施してきたが、コロナの影響により令和2・3年度は開催を中止した。こういった状況の中でもどうにか開催できないか模索した結果、①従来では参加してもらえなかった方の視聴につなげる②議会に関心がない方が議会を知るきっかけになる③動画によって議会活動を知ってもらい議会への理解につなげる④効果的な発信による広がりの可能性と期待⑤コロナ禍の中の非接触型対応が可能という理由から映像配信型の議会報告会を開催することにした。

内容・原稿作成・撮影場所選択・撮影・出演・編集含め、基本的に全て議員が行ったことなどを挙げられた。



栗東市視察の様子

西脇市・栗東市共に新たな層の方に参加していただきたいこと、議会の報告ではなく市民の方の意見を伺う機会にしたいと考えていることなど共通する課題があった。

特別委員会

水害対策調査特別委員会

1月16日開催

〔現地視察〕佐賀市排水対策基本計画の「溜める対策」の事業である、佐賀城お濠、城東川雨水調整池、川上地区遊水池、大久保新堤で現地視察を行い、市の担当者から現状の説明を受けた。その後庁舎で田んぼダムの取り組みについて市内及び県内の状況等の説明を受けた。

〔質問〕城東川雨水調整池の事業費のうち、用地取得に関する費用はいくらか。

〔回答〕面積が約1万6000平方メートルで、用地代が約9400万円となっている。

〔質問〕田んぼダムについて、補助金の期間は3力年となっているが、期間終了後はどうするのか。

〔回答〕田んぼダムは県の制度で、実施期間が3力年となっている。期間終了後については、メリットが確認できれば、県に長期間の実施を要望したい。



佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する 調査特別委員会を設置

〔設置日〕

令和5年1月23日

〔委員構成…定数12名〕

委員長 嘉村 弘和
副委員長 山口 弘展
中島 妙子
西岡 真一
松永 憲明
山田誠一郎
永渕 史孝
川副龍之介
堤 正之
千綿 正明
中野 茂康
山下 明子

〔調査範囲〕

- ・ 周辺環境への影響および対策（騒音・排水等）
- ・ 安全性（施設の配置等）
- ・ 住民理解（住民への説明等）
- ・ 地域振興策
- ・ その他佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する事項

※特別委員会とは、特定の事案や重要な問題など、議会が特に必要と認めるとき、事案ごとに設置されるもの。

佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

1月25日開催

〔委員間協議〕 調査事項を「騒音や排水をはじめとした周辺環境への影響および対策」「施設の配置などの安全性」「住民への説明をはじめとした住民理解」「地域振興策」「その他駐屯地計画に関する事項」とすることを決定した。

〔執行部説明〕 ①佐賀空港の自衛隊使用要請に関する庁内検討会を設置した②12月13日付けで国に68項目の疑問点を照会し、回答を受領した③12月25日からの3日間で県民等に説明会を開催され、延べ385人の参加があった④1月24日付けで国に疑問点等を再照会した⑤今後、懸念や疑問等の論点整理を行う。

〔質問〕 説明会の回数を増やし、北部地域等での開催を国へ要求すべきでは。
〔答弁〕 意見があったことを国または県に伝達したい。

2月3日開催

〔現地視察〕 駐屯地予定地の概要について

特別委員会

て国から説明を受け、質疑を行った後、空港周辺に位置する2カ所の樋門を視察し、排水の現状を確認した。

〔執行部説明〕 ①1月29日の説明会に266名の参加があり、排水や施設の配置案、環境への影響等について質疑応答が行われた②国から1月24日付けで照会した38項目の疑問点等の回答を受領した③今後、懸念や疑問等の論点整理を行う。

〔質問〕 複数機のオスプレイで場周経路等を飛行して、騒音測定すべきと考えており、国へ強く求めるべきでは。

〔答弁〕 騒音に対する強い懸念があることは承知しており、国へ伝達したい。

2月13日開催

〔参考人招致〕 空港周辺に位置する2カ所の樋門および排水ポンプ場の運用状況等について、関係者から説明を受けた。

〔参考人説明〕 ①排水ポンプ場は、空港建設に伴い上昇する内水位を建設前と同等に保つために設置し、強制排水を実施している②ポンプ稼働時はノリ養殖に影響が出ないよう配慮している。

〔質問〕 空港からの排水は、浄化槽等を

經由しPH（ペーハー）測定しているか。

〔回答〕 ターミナルビルからの排水は合併浄化槽で処理し、雨水はオイルフェンスを数ヶ所設置しており、周辺環境に問題はない。

〔参考人招致〕 駐屯地計画に関する住民説明会の開催実績等について、九州防衛局から説明を受けた。

〔参考人説明〕 昨年末から住民説明会を5回開催し、出された主な意見や質問とその回答を、調査事項ごとに整理した①オスプレイが複数機で飛行しても騒音が大幅に増加する見込みはないこと等から、複数機で騒音調査をする考えはない②機体の運用に起因した損失が生じた場合は、関係法令に基づき適切に対応したい③安全保障環境が厳しさを増す中で、一刻も早く佐賀空港へ配備したいとの考えから、年末の時期であったが、できるだけ早く住民説明会を開催すべきと判断し実施した④宿舎には一般的に700名ないし800名の隊員と相当数の家族が居住する見込みで、一定程度の経済効果が見込まれる⑤地権者の意向を踏まえずに一方的に土地を収用する考えはない。

【意見】 オスプレイのオートローテーション機能について実機で検証するよう求めたい。

【回答】 オートローテーション機能は緊急時の手順であり、必要になる可能性は100億時間に1回の確率であり、シミュレーターが非常に高性能であること等から、実機の使用は考えていない。

【質問】 オスプレイが暫定配備されている木更津駐屯地で、騒音や排水等に関する苦情は出ていないのか。

【回答】 木更津駐屯地に関する協議会が設置されており、機体洗浄時の騒音に関する苦情が出ていることを把握している。



2月20日開催

【執行部説明】 佐賀空港の自衛隊使用要請に関し、論点整理骨子案を作成した。県がまとめた論点整理や、それ以降の

市議会等での議論、説明会での質疑等を踏まえ、「オスプレイの安全性」「環境への影響」等、14の論点について整理した。

【質問】 市全域を対象とした説明会開催の要望が出された場合、どう対応するか。

【回答】 国が主体的に開催すべきであり、今後も国に対し真摯な対応を求めていく。

【質問】 今後、市として駐屯地計画に対し何らかの意思表示をするのか。

【回答】 何らかの意思表示をすべきとの意見は承知しており、今後も検討を深めたい。

【質問】 駐屯地を建設することになった場合、地元企業が受注できるよう国へ要望すべきでは。

【回答】 市の責務の一つに地元企業の振興等があり、意見があったことを国へ伝達したい。



3月1日開催

【市長説明】 佐賀空港の自衛隊使用要請を、2つの視点（①地方公共団体の長として「住民の皆様の生活を守る」「安全・安心なまちをつくる」という使命があり、市民の安全・安心や福祉の増進を見据えつつ、様々な対応について判断すべきである②国防は国の専管事項だが、安全保障環境は厳しさを増しており、国防の重要性を認識している）を踏まえて慎重に検討を重ね、受入れがやむを得ないと判断した。2月20日の委員会で説明した論点整理骨子案をもとに、国へ確認を求め、事項を8項目に整理し、2月27日の防衛副大臣との会談で確認した。今後も国に対し真摯な対応を求め、合意事項を着実に履行するよう求める。

【執行部説明】 防衛副大臣との会談で、特定防衛施設関連市町村の指定について前向きに検討するよう求めたことに対し、特定防衛施設の指定を含め、対応を検討したい。また、駐屯地の設置や運用が及ぼす影響に特に配慮しつつ、市民の不安や懸念を解消し、駐屯地の開設が地域の発展につながるよう市と協力して対応したいとの回答を得た。

【意見】 特別委員会を設置して2ヶ月と間もなく、提言等もしていない段階である。騒音問題や夜間訓練の問題等、国に確認を求めたい事項がある中で、自衛隊使用要請の受入れを表明したの

は議会軽視ではないか。

【答弁】 これまで5回開催された説明会の内容や、国へ照会した121点の疑問点等に対する回答等をもとに論点整理骨子案を作成し、その内容をもとに対応を求め、責任をもって対応することを確認した。

【意見】 自衛隊使用要請について受入れがやむを得ないと示されたので、これから地域振興や経済的な効果等の議論ができるのではないか。

【意見】 これまで説明会や特別委員会で議論等が行われ、防衛副大臣との会談を経て最終的に判断されており、確認すべきことを確認し、適切な手順を経ていると理解している。

【答弁】 今後も、市民の様々な懸念への対応、安全対策や環境への配慮等、国に真摯な対応を求めている。

【質問】 特定防衛施設関連市町村に指定された場合の影響は。

【答弁】 駐屯地の設置および運用による影響に対し、生活環境の改善等について、ハード面およびソフト面の両方で支援を受けることができる。

【質問】 既に指定されている市町村で支援を受けた事例はどのような内容か。

【答弁】 ハード面では環境衛生施設、教育文化施設等があり、ソフト面では子ども医療費の助成や予防接種事業がある。

議会BCPに関する議員研修会を開催しました

令和5年2月2日に「議会BCP～減災オペレーション力向上の必要性と方法の提案～」をテーマに研修会を行いました。議会BCPとは、大規模な災害等が発生した場合にとるべき議会及び議員の役割や行動指針等を定め、迅速かつ適切な議会活動を確保することを目的とした議会業務継続計画のことです。講師の有浦隆氏は自衛官として阪神淡路大震災、東日本大震災等災害派遣対応を経験。その後熊本県危機管理防災企画監に就任され、熊本県で初めての鳥インフルエンザの発生時や、熊本地震の際に陣頭指揮を執られており、その経験を踏まえたお話をいただきました。

議員からは「防災の本質、新たな見方・考え方を学ぶことができました。地元佐賀市の防災を考えていく良い機会となった」「課題点、改善点を明確に教えていただいたことは議会としてもプラスになった。自らの防災意識の向上につながった。」といった感想がありました。



研修会の様子

議会通信簿



じんのうち よういち
陣内 洋一さん (木原)

Q: 佐賀市の自慢・良いところは?

A: 大型ショッピングセンターも多く、医療機関も充実していてとても便利です。子どもを育てる環境が整っていて、なにかと、心地よい、生活しやすい街です。

Q: 佐賀市のこうなったらいいなあというところは?

A: 誰かが、誰かに、いつでも手を差し伸べているような街に、そして、子どもの笑い声が絶えない街になってほしい。

Q: 「議会だより」読んでますか?

A: 読んでいます。

Q: 佐賀市議会に対する5段階評価は?



問い合わせ (議会事務局) 電話40-7310 FAX 25-5407 E-mail:gikai@city.saga.lg.jp

議会報告会を開催します!

「議員と語ろう。～佐賀市の今とこれから～」

日時: 5月21日 (日)

午後1時30分受付開始

場所: メートプラザ佐賀 (佐賀市兵庫北)

※詳しくは佐賀市議会ホームページをご覧ください

◎佐賀市議会 6月定例会のお知らせ 6月15日 (木) 午前10時開会 (予定)

※会期日程等については、開会日に正式決定し、ホームページでお知らせします。

佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員1名の辞職により、令和5年1月臨時会において選挙が行われ、議長の指名推薦により野中宣明議員が当選しました。

編集後記

さが桜マラソンの4年ぶりの通常開催、WBCでは日本代表「侍ジャパン」が世界一を奪還するなど、希望溢れる春の訪れに自然と心が躍りました。

今定例会では26名の議員が一般質問に登壇し、また新年度当初予算などの議案は全て可決しました。

議会を身近に感じていただきたく、5月に開催する議会報告会の告知動画を皆で作成しました。全議員が登場する元気が出る(!?)動画になりましたので是非ご覧くださいませ。市民の皆様のお声を直接お聴きすることが、議員力の向上、そして市政の発展につながると考えます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(中島妙子)

私を書きました!!

～表紙題字の作者紹介～



佐賀北高等学校
芸術科書道専攻 3年

くろはら ゆり
黒原 釉史さん

【将来の夢】

これまでの高校生活で得た知識や経験を生かし、地域に貢献できる人材になりたいです。

【題字】

綺麗な行書体で上品さを出しました。一画だけ強調することで全体のバランスを意識しました。